



福祉用具貸与事業者とケアマネジャーをつなぐニュースレター

GreenCare NEWS

Vol.400
2026年
5月11日発行



加入率28%で「全面普及期」に ケアプランデータ連携システム



介護業界はアナログからデジタルへの転換期(ターニングポイント)を迎えています。全国のシステム加入率は28%に達し、普及が一気に加速すると言われる16%の壁を超えました。

2026年1月から3月のわずか2ヶ月で、加入数は約1.9倍(約1.9万件→約3.7万件)へと急増、居宅介護支援だけでなく、福祉用具貸与や通所介護といった、「受け手」側の事業者も、加入が進んできています。

業界全体がアナログからデジタルへ移行する転換点

全国合計加入率:28%

(対象事業者数186,000※に対し、加入数52,114)

2026年度中には全種別で50%ラインを突破する

「全面普及期」に入る可能性

特に、居宅介護支援の加入率が増加したため、未加入の訪問系事業所に対しても加入するメリットが発生。

(※併設の場合は1とカウント、施設系サービスを除外した場合の数字です。)



4月10日
衆議院厚生労働委員会
最新の加入率:28%超
と公表

加入割合が高い都道府県の特徴

富山県43.64%、福井県42.46%、鳥取県37.05%

①特定地域での「集中加入」

日本海側の県や、比較的小規模な自治体で高い

②行政・職能団体

地域のケアマネジャー協会や行政が主導、地域全体で一斉に導入を進めている「モデル地域型」の普及が進む

③人口減少

生産年齢人口の減少が著しい地域ほど、DXによる省力化が急務

加入割合が低い都道府県の特徴

沖縄県6.13%、福岡県9.92%、島根県11.41%

①ネットワーク外部性

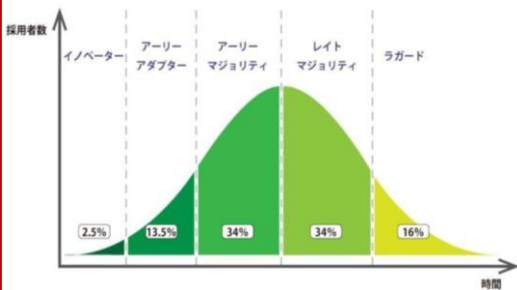
初期の加入者数が少なく、導入してもメリットを享受しにくい

②独自ネットワークの存在

地域独自の共有システムやローカルなネットワークが存在、国のシステムにメリットを感じにくい

③従事者の高齢化とDXへの心理的障壁

従来の慣習から変わることへの心理的ハードル



普及の鍵:キャズム(溝) —イノベーター理論—

16%の壁

イノベーターとアーリーアダプターを合わせた16%を超えると普及は一気に加速。

ケアプランデータ連携システムのような業界インフラの場合、この「16%の壁」を超えてマジョリティ層が動き出すと、普及のスピードが劇的に上がる。

イノベーター理論

1962年にスタンフォード大学の教授エバレット・ロジャーズが提唱した、新しい製品やサービス、技術が市場に浸透していく過程を構成するユーザーの属性別に分類した理論。消費者をその導入時期によって、以下の5つのグループに分類。



WAMNET「ケアプランデータ連携システム利用状況」

<https://www.wam.go.jp/wamappl/kpdrsystop>

季節の変わり目に注意 5月病



株式会社日本ケアサプライ
営業企画部
理学療法士
唐沢 忠尚

5月病は4月の入学や就職、転勤や異動など環境変化によるストレスが、ゴールデンウィーク明けに心身の不調として表れる状態(適応障害やうつ病の初期段階)です。
正式な病名ではなく、無気力、憂鬱、眠れない、食欲不振、頭痛などの症状が、真面目な人や環境の変化が大きい新人に多く見られます。

- ・気持ちが落ち込む
- ・やる気が出ない
- ・倦怠感がある
- ・不眠
- ・食欲不振



5月病になりやすい人の特徴

- ・真面目で几帳面
- ・責任感が強く完璧主義
- ・悩みを一人で抱えがち

基本的には新入社員など生活が大きく変わった人が5月病になりやすいものの、性格も関係します。
5月病を一時的なものと軽く考えていると、長引いたりうつ病になったり等、深刻化するおそれがあります。



対策

- ①お気に入りの音楽を聴く
- ②読書をする
- ③睡眠の質を確保する
- ④バランスのとれた食事を意識する
- ⑤家族や友人と会話をしてみる
- ⑥個人の時間を大事にする
- ⑦ウォーキングや軽いランニング、ストレッチなどで軽く身体を動かす



5月病の症状に気付いたら、早めに心療内科や精神科などの医療機関を受診するのがおすすめです。
医療機関では状況に応じてカウンセリングや薬物療法などを行ってもらえる場合もあります。
自分でできる対策としては上手にストレスを発散すること、バランスの良い食事を心がけること、定期的に適度な運動をすることなどがあります。
また、質の良い睡眠をとるなど規則正しい生活を心がけることも重要です。



■ 世界経済フォーラム
五月病から考える - メンタルヘルスへの取り組みが社会を強くする
<https://jp.weforum.org/stories/2023/04/jp-may-blues-japan-how-to-deal-with-it/>

法定研修

安心の学びをリーズナブルにご提供

支援ツール

スキルアップセミナー

GCFOバックナンバー

いつでも どこでも なんとでも

介護サービスの質向上と効率化をお手伝いします!

GREEN
CARE
FORUM

グリーンケア フォーラム
プレミアムプラン



私たち



きぬせん福祉用具研究会

千葉県船橋市海神四丁目9-18

連絡先 : 047-433-1012 FAX : 047-433-1034

mail : info@kinusen.net URL : <https://kinusen.net>

